



# 日本カイロプラクティック学会雑誌 投稿規定

Japanese Journal of Chiropractic Science

Submission Guidelines

2023年11月1日 改定

日本カイロプラクティック学会雑誌 編集委員会

## 1. 論文募集

日本カイロプラクティック科学学会 (Japanese Society of Chiropractic Science) の機関紙である日本カイロプラクティック学会雑誌 (Japanese Journal of Chiropractic Science) は、カイロプラクティックに関連した論文を広く募集します。但し、他誌に掲載されたものや投稿中のものは受理しません。論文の採否は編集委員会で決定します。

## 2. 論文の種類

投稿論文の種類は以下のものとします。

- ① 「総説」: ある主題に対して、研究論文を総括・評価し、解説したもの。
- ② 「原著」: 新知見や創意が含まれ、明確な結論を示した研究論文。
- ③ 「症例報告」: 興味深い症例や教育的価値のある報告。
- ④ 「短報」: 研究の速報・略報として簡潔にまとめた短い研究論文。
- ⑤ 「報告」: 調査、活動、事例や成果および評価に関する報告。
- ⑥ 「紹介」: カイロプラクティックに関する論点・体験・海外事情などの紹介。
- ⑦ 「レター」: 学会誌掲載論文について会員からの論評。

## 3. 投稿資格

原則として投稿原稿の筆頭著者は日本カイロプラクティック科学学会会員に限ります。

## 4. 倫理規定

論文の執筆にあたり、対象者の匿名性やプライバシー、倫理的側面に十分に配慮してください。ヘルシンキ宣言 (1964 年承認、2013 年第 7 次改訂)<sup>※1</sup>、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」をはじめとした「医学研究に関する指針」(厚生労働省)<sup>※2</sup>、「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(2006 年環境省告示第 88 号)<sup>※3</sup>を遵守してください。

※1 <https://www.med.or.jp/doctor/international/wma/helsinki.html>

※2 <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/>

※3 [https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2\\_data/nt\\_h180428\\_88.html](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/nt_h180428_88.html)

## 5. 利益相反

研究および論文の内容に関連し、営利を目的とする法人・団体などとの経済的 COI (医学研究の利益相反) 関係がある場合は論文中に明記してください。



# 日本カイロプラクティック学会雑誌 投稿規定

Japanese Journal of Chiropractic Science

Submission Guidelines

## 6. 論文の構成

投稿論文の原稿は、A4 判横書き、本文 8,000 字以内、図表 8 枚以内とし、図表 1 点が原稿用紙(400 字詰め)1 枚に相当します。原稿は以下の要領に従って構成してください。

### ① 「表紙ページ」

論文のタイトル、著者名(6 名以内)、英文タイトル、著者名のローマ字綴り、所属機関、略歴(筆頭著者の略歴を 100 字~200 字程度で添える)連絡先の氏名・住所・電話番号・e-mail アドレスを記してください。

### ② 「和文要旨」 Abstract

和文要旨は 400 字以内とし、キーワードは 5 つ以内とします。

(※希望であれば、英文要旨、英語キーワード 5 つの記載が可能。)

### ③ 「本文」

原著は下記の本文構成を参考に記述してください。それ以外の論文は、下記の本文構成に限定せず、内容に応じた項目で記述してください。

I. 緒言(はじめに) Introduction/Background

II. 方法 Methods

III. 結果 Results

IV. 考察 Discussion

V. 結語(結論) ※省略可 Conclusion

### ④ 「章、節、項など」

これらを設ける場合は、以下の順で符号を使用します。

I. II. III. 各項目(緒言/はじめに~結語/結論)

1. 2. 3.

1) 2) 3)

(1) (2) (3)

① ② ③

### ⑤ 「文献」

本文中の引用箇所の右肩に、引用順に番号をつけてください。著者が複数であれば 3 名まで、それ以上は「他」または「et al.」と記載してください。引用雑誌の略称は Index Medicus に従ってください。雑誌名は原則として、和文誌は医中誌、欧文誌は PubMed の略称表記を用います。



# 日本カイロプラクティック学会雑誌 投稿規定

Japanese Journal of Chiropractic Science

Submission Guidelines

## 【文献の例】

### a. 雑誌の場合

- 著者. 論文名. 雑誌名. 発行年;巻(号):頁一頁
- 1) 竹谷内宏明, 竹谷内克彰. カイロプラクティックの慢性腰痛に対する治療—Prospective Study—. 日腰痛会誌. 2006; 12(1):107-114.
  - 2) Houweling T, Bolton J, Newell D. Comparison of two methods of collecting healthcare usage data in chiropractic clinics: patient-report versus documentation in patient files. Chiropr Man Therap. 2014; 22: 32.

### b. オンラインジャーナルの場合

- 著者. 論文名. 雑誌名. 発行年;巻(号):頁一頁. 入手先(URL / doi), 入手日付.
- 1) Goertz CM, Long CR, Vining RD, et al. Effect of Usual Medical Care Plus Chiropractic Care vs Usual Medical Care Alone on Pain and Disability Among US Service Members With Low Back Pain: A Comparative Effectiveness Clinical Trial. JAMA Netw Open. 2018;1(1):e180105. doi:10.1001/jamanetworkopen.2018.0105, (accessed 2020-05-04)

### c. 書籍の場合(単著または複数著者)

- 著者. 書名. 版数. 発行地: 発行所; 発行年. 頁一頁
- 1) 竹谷内宏明. 整形外科医が書いた正しいカイロプラクティック. 初版. 東京: 五月書房; 2004. p.188-189.
  - 2) Ebrall PS. Assessment of the Spine. 1st ed. London: Churchill Livingstone; 2004. p.87-100.

### d. 書籍の場合(編著書・監修書)

- 著者(訳者):章タイトル. 監修者または編者・書名. 版数. (発行地:) 発行所; 発行年. 頁一頁
- 1) 大谷晃司:第6章 整形外科医からみたカイロプラクティック. 菊地臣一(監)・補完代替医療カイロプラクティック. 第1版. 京都: 金芳堂; 2006. p.75-79.
  - 2) Mootz RD, Phillips RB: Chapter II Chiropractic belief systems. Haldeman S, et al . Principles and Practice of Chiropractic. 2nd ed. Norwalk, CT: Appleton & Lange; 1992. p.105-114.

### e. ウェブサイト中の記事の場合

- 著者. “ウェブページ題名”. ウェブサイト名称. (更新日付.) 入手先(URL), 入手日付.
- 1) 厚生労働省. “海外の情報 カイロプラクティック”. 「統合医療」情報発信サイト.  
<https://www.ejim.ncgg.go.jp/public/overseas/c02/04.html>, (accessed 2020-04-18).



# 日本カイロプラクティック学会雑誌 投稿規定

Japanese Journal of Chiropractic Science

## Submission Guidelines

- 
- 2) World Health Organization. "WHO guidelines on basic training and safety in chiropractic".  
World Health Organization.  
<https://apps.who.int/iris/handle/10665/43352>, (accessed 2018-08-25).

### ⑥ 「図表とその説明」

本文に挿入箇所を指定し、(表 1)、(表 2)…、(図 1)、(図 2)…と番号をつけてください。図表には必ずタイトルをつけ、タイトルの記入箇所は表では上、図は下とします。図には必要であれば簡潔な説明を記載してください。写真は白黒に限り、上下を指定ください。既出版物から引用した図表を使用する場合には必ず引用の旨を記載し、引用に関して著作権者に許可を得てください。

## 7. 著作権

本誌に掲載された論文等の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権は日本カイロプラクティック科学学会に譲渡されたものとします。雑誌、書籍やオンラインジャーナルで発表された資料を転載する場合は、著作権所有者から使用許可を取得してください。

## 8. 表記方法

- 1) 表記は原則として常用漢字、現代仮名遣いを用いてください。
- 2) 医学用語は、日本医学会医学用語管理委員会編「日本医学会 医学用語辞典」(南山堂)<sup>※4</sup>に準じてください。  
※4 <https://jams.med.or.jp/dic/mdic.html>
- 3) カイロプラクティック専門用語は、日本カイロプラクティック科学学会編「カイロプラクティック用語集」(作成中)に準じてください。当会の用語集が完成するまでは、竹谷内宏明編著「カイロプラクティック用語集」(科学新聞社)<sup>※5</sup>を参照してください。  
※5 <https://www.chiropractic.or.jp/journal/book/>

## 9. 査読

論文の採択は、編集委員会が委嘱する査読者の意見を参考にして、編集委員会が決定します。編集委員会は、当会会員の中から投稿論文の主題を考慮して査読者を選任することを基本としますが、論文により、当会会員外の有識者に査読を依頼することもあります。尚、編集方針に従い、原稿の修正、削除を求める場合があります。

## 10. 校正

著者による校正は原則として一回です。内容の大幅な変更がある場合は再査読を必要とします。



# 日本カイロプラクティック学会雑誌 投稿規定

Japanese Journal of Chiropractic Science

Submission Guidelines

---

## 11. 編集委員会

「日本カイロプラクティック学会雑誌」編集委員会

編集長 竹谷内克彰

編集委員 臼田純子

金本裕子

河合智則

鈴木講太郎

竹谷内康修

中塚慶

成瀬弘絵

山田敏貴

若槻朋彦

渡辺信博

編集顧問 鶴岡正吉

蒲原聖可

大谷晃司

Ricardo Fujikawa

Dana Lawrence

Yi Kai Wong

## 12. 原稿送付先

投稿は、日本カイロプラクティック科学学会事務局宛の電子メール( [info@chiropractic.or.jp](mailto:info@chiropractic.or.jp) )にお願いします。原稿は、汎用性の高いファイル形式(Word 形式)、一般的なソフトウェアを利用して提出してください。

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-24-5-503

(一社)日本カイロプラクターズ協会内

日本カイロプラクティック科学学会事務局

Tel: 03-3578-9390

E-mail: [info@chiropractic.or.jp](mailto:info@chiropractic.or.jp)